

# 2024 PROJECT REPORT



## 概要

- 目的 三浦半島近辺の海洋環境の現状理解を広めると共に、海との共存について考えるきっかけを作る。
- 内容 海洋環境教育（漁業者と一般の方との藻場保全活動の実践）
  1. 磯を教室に見立て、学校の机と椅子を設置した場所にて海洋環境レクチャー
  2. アオリイカの産卵床作りと海中設置
  3. カジメの苗付けと海中設置
- コンセプト
  1. 絶景とインパクトのある空間でワクワク感を高め、五感で楽しむ。
  2. 漁業者から温暖化によるリアルな影響を聞く。
  3. 「藻場」「磯焼け」の言葉と実態、魚礁や海藻の役割と重要性を知る。
  4. 誰でもモニタリングできる環境で保全意識を維持する。
  5. 自分たちにもできることがあることを気付いてもらう。
- 主催 任意団体 FOR A BETTER OCEAN miura
- 協力 三和漁業協同組合 城ヶ島支所
- 開催日 2024年5月25日（土）
- 開催時間 9:30 - 12:30
- 場所 神奈川県 三浦市 城ヶ島 西崎の磯付近
- 参加費 無料
- 募集 一般公募 35名





## 詳細

- 参加者 31名 / 15組（親子6組、夫婦4組、1人4組）
- 応募状況 定員20名で開始したところ翌日には満席となり、35名へ増席、募集開始から3日後に締切り。申込総数19組39名、キャンセル4組8名
- スタッフ 総勢13名
- プロモーション
  - ・ インスタ投稿（FAB0m × 3投稿、三和漁協城ヶ島支所 × 2投稿、スタッフ投稿）
  - ・ インスタ広告（約24時間）
  - ・ フライヤー（500枚 / 締切後の配布）
- 天候 曇り、気温20度前後、風6m → 3m
- 内容
  1. 海洋環境レクチャー

当プロジェクトのイメージビジュアルになっている、学校の教室に見立てた「城ヶ島クラス」で、三和漁業協同組合城ヶ島支所 石橋氏による海洋環境の現状と藻場保全活動の必要性をレクチャー。
  2. アオリイカの産卵床作りと海中設置

教室から徒歩数分の入江「長津呂」へ移動し、予め用意した枝を参加者の手である程度のボリュームにロープで結んでもらう。結べたら石橋氏にチェックをしてもらい、数メートルにも及ぶ大きな枝のまとまりを参加者が引きずりながら直接船へ運搬、漁業者により目の前の海へ投入。
  3. カジメの苗付けと海中設置

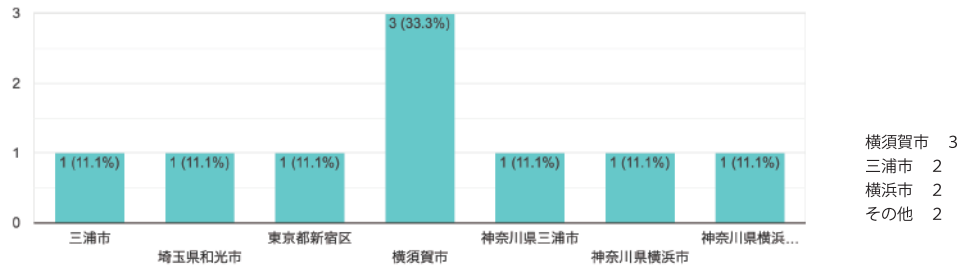
予め船へ積んでおいたカジメを船からおろし、根の部分を用意したロープを緩ませてできる隙間に挟んで固定する。乾燥や紫外線に弱い海藻の扱いに慎重になりながら、ジョウロなどで水を掛け参加者同士が協力して手早く作業を行い、漁業者と一緒に磯から直接海中へ投下、ダイバー2名が海底設置のサポートを行った。



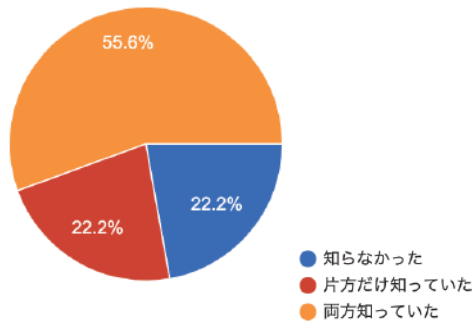
# アンケート

実施日 2024年5月25日  
実施方法 Google フォーム  
回答率 60% (15件中9件)

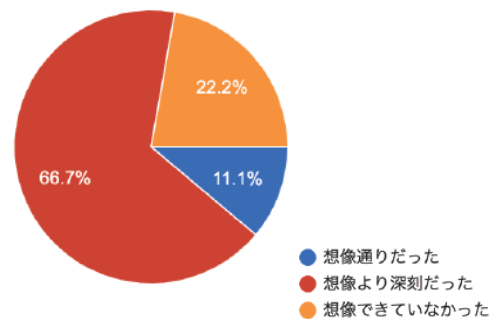
## 1、お住まいの県、市区はどちらですか



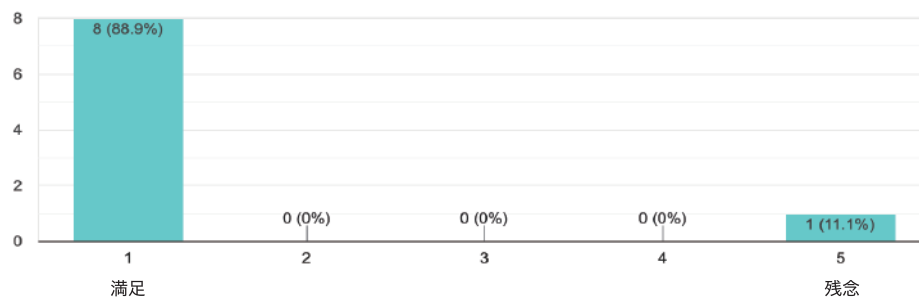
## 2、「藻場」や「磯焼け」という言葉を知っていましたか



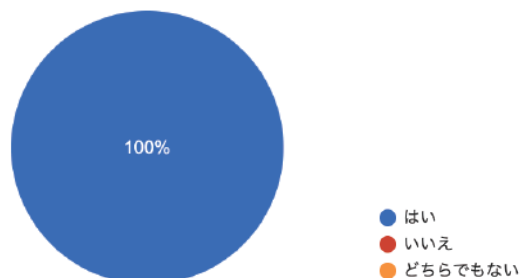
## 3、イベント前の想像と比べて今回感じた海の状態はどうでしたか



## 4、イベントには満足されましたか



## 6、また参加したいと思いませんか？



## 5、印象に残ったことは何ですか

### イカの産卵床の事

海のために新しい取り組みをしていること。  
地球温暖化や、海洋汚染テレビではみていたけど、当たり前前に自然が保たれていると思っていました。  
壊れつつある自然を守ろうといういろいろな取り組みをしていることを知り、自分にもできること、小さなこと  
だとしても、自然を守れる生活を心がけたいと思いました

### 気候変動やブルーカーボンという語彙を積極的に使っていた事

素敵な景色に溶け込んだ机と椅子での授業。  
現役漁師さんからの話しや実践を交えた活動体験。  
温暖化と言う壮大な地球規模の課題に向き合った取り組み。

### カジメの植え付けに直接関わられたこと

木を運び束ねたりと重労働であること、カジメは繊細で慎重な作業が求められることなど、実際に体験して  
みて、海を守ることは決して簡単なことではない、と実感しました。

温暖化対策で身近に出来る事があるとわかった事。視点を変える事の重要性を再認識しました。

石橋さんが、本来仕事や他のことに使えるはずの自分の時間や労力を割いて、海の環境と向き合っていること。  
今回のイベントに多くの人や物が必要なはずなのに参加料が徴収されないこと。  
わたしとしては参加費は徴収してほしいです。  
必要な材料や、会場の準備、人員の確保、スタッフの弁当など、かなりの金額と労力が使われているはずなので、そこも支え合えないでしょうか？

実際に漁師さんのお話を聞いて生の海の状況を勉強させていただき、体験までできたこと。

## 7、6で「いいえ」「どちらでもない」を選んだ方は理由をお聞かせください

0件の回答





## 8、その他、感想や気になったことなど

次お邪魔するときはごみ袋をもって行って、ごみ拾いをしたいと思います

カジメやイカを水産品(食べる)以外に、アート作りに応用してみたい

大変貴重な体験をさせていただき、本当にありがたかったです。一つだけ気になった点としては、作業のチーム分けが事前になされていなかったためか、なかなか作業に加わらなかった方がいたことです。事前にチームを決めて、自己紹介などもできたらもう少し一体感のある作業ができたのかなと思います。結果的に全員楽しめたと確信していますが、あえての意見ということでご査収ください。本当にありがとうございました。

城ヶ島や三浦の海がいつまでも美しく、本来の姿を取り戻せるよう、少しでも活動に参加できればと思いました。貴重な経験ができました。ありがとうございました。

身近な場所にもかかわらず大きく変化が起きている事に気づきました。ありがとうございました。

大変いい機会でした。子どもと（そしていつかは孫と）ずっと海に遊びに来て、魚やイカを見せてあげたいので、今後もこの活動が続くこと、何かの形で関われることを望んでいます。



## まとめ

眼前の相模湾から吹く潮風が磯の香を運び、絶え間なく打ち寄せる波の音が賑やかなこの磯。大人も子供も同じように海を体感します。夢中になって作業を達成できたら歓声を上げ、みんなで行った作業を労い、命が宿る可能性に拍手を送ります。年齢や職業などの垣根を越えて海を想う一体感に包まれた時間です。

私たちの国を取り巻く海は、想像以上に美しく豊かで複雑な生態系を保っていますが、同時に急激な変化の最中にあります。少しでも多くの人に現状の海のことを知ってもらいたい。そんな思いから、この活動は始まりました。まず私たちは「海を知る」ところから始めなければなりません。専門家から知識を分けてもらい、自分の感覚を使って海を体感してみてください。これからの生活がほんの少しだけ、変わるかもしれません。

アンケートでは、現状の海洋環境について参加者の 88.9% が認識不足でした。イベントへ参加していない一般の人は 100% に近い割合で現状を認識できていないことは容易に推測できます。これは陸上で生きる私たちにとっては当たり前ですが、メディアや机上の情報は現実に比べほんの僅かな知識量であること、それ故に私たちは「海を知らない」ということを自覚し、正しい認識を広めていく必要があります。

イベント終了後に寄せられた参加者からのメッセージでは、「イベント翌日に子供が自分から海岸清掃をする」と言い出した」「自分にもできることがあるとわかった」など早速意識に変化が見られ、自然との共存を考え行動するきっかけ作りという目的に適った結果を導くことができました。

環境教育としての役割を担ったばかりでなく、「海のあるライフスタイル」という視点に移してみると、海との共存について探る三浦ならではの豊かさを見出すことができます。

また、漁業者石橋氏について本来の仕事の時間を割いて藻場保全活動を行うことを憂慮するコメントも見られました。参加者らがそれぞれ奥深い考察を広げていることが、プロジェクトへ想定以上の可能性を感じさせました。

この企画は、資材準備、海上運搬、魚礁と海藻の手配から設置・管理まで権利や安全性、地域ネットワーク等の関係で漁業者の協力無くしては成し得ないプロジェクトです。海を守るには漁業者が主体となりますが、漁業は高齢化が進み担い手の減少が激しく、継続が困難な状況にあります。そこで今回は、一般市民と漁業者との協働によって成立させることができた大変貴重な機会となりました。

多忙を極める中、様々な課題をクリアしご協力頂いた三和漁協城ヶ島支所の石橋氏、同じ想いで集まってくれたメンバーたち、また当団体を陰ながら応援してくださっている方々、そして私たちの活動に賛同してくださった参加者のみなさまへ深く御礼申し上げます。

これからも一緒に「より良い海のためにできることから。」ご賛同の程、よろしく願い申し上げます。

FOR A BETTER OCEAN miura  
代表 榎本 さやか





より良い海のために できることから。

**FOR A BETTER OCEAN miura**

[www.fabo-m.com/](http://www.fabo-m.com/)  
[forbetterocean@gmail.com](mailto:forbetterocean@gmail.com)

